2021年 10月25日

会員　各位

公益社団法人　日本技術士会 中国本部　本部長　大田 一夫

機械/船舶･海洋/航空･宇宙部会長　高井 英夫

担当：副部会長　大丸 讓二

**公益社団法人 日本技術士会 機械部会／中国本部 機械／船舶･海洋/航空･宇宙部会主催**

**機械部会11月講演会 Web中継（ご案内）**

拝啓　時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配をいただき、厚くお礼申し上げます。さて、日本技術士会 機械部会では、2021年11月12日（金）に ｢**物流センターでのロボット活用**」と題した講演会をＷeb開催します。機械部門、船舶･海洋部門、航空･宇宙部門の技術士・修習技術者はもとより、本講演は他の部門の方々にもご参考になるものと考えますので、お誘いあわせの上、奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

参加申し込みは、事務局事務の省力化のため、下記URLの専用申込フォームからお願いします。

<https://forms.gle/JEV5wFaYzBErWtby5>

敬具

－ 記 －

１．主　催　：　日本技術士会 機械部会／中国本部 機械/船舶･海洋/航空･宇宙部会

２．日　時 ： 2021年 11月12日(金)　18:30～～20:30〔講演自体は、20：00までの予定〕

３．会　場 ：　公益社団法人日本技術士会 中国本部事務局　6Ｆ会議室

４．内　容　： 演題：｢**物流センターでのロボット活用**｣

 （要旨：日本の物流政策・物流センターで活用されているロボットの情報共有、および開発中のバンニングロボットの紹介を行う。）

講師：堀内 晴彦氏（東芝インフラシステムズ（株））技術士（機械部門・総合技術監理部門）)

|  |
| --- |
| ≪**バンニングロボット**について≫ 物流ビジネスでは，ネット通販のグローバル化や新興国での設備投資の拡大などに伴って，国内外で貨物が増加している。しかし，トラック荷台やコンテナ内の荷役作業は人手に依存した状況にあり，作業者の負荷軽減も進んでいない。そこで，コンテナに貨物を積み込む作業を行うバンニングロボットを開発している。今回，貨物を一つずつ積み込む作業を自動化するため，独自のハンドリング機構，自動軌道補正技術，及び遠隔監視技術を開発した。このような興味深いご講演を聞けるものと期待されます。なお､ Social distance を維持するため、定員になりましたら締め切ります。 |

５． 定員、対象、参加費、ＣＰＤ

（１）定員　　１５人

（２）対象　　会員及び非会員(一般参加者も歓迎します。)

（３）参加費　会員：無料、非会員：500円

（４）ＣＰＤ　参加者には日本技術士会からＣＰＤ：1.5時間〔予定〕の参加票を発行します。

６.　申込について

（１）締切り　2021年 11月11日（木）

（ただし、定員になり次第締切ります。）

（２）申し込み先

公益社団法人 日本技術士会 中国本部事務局：勝田

広島市中区鉄砲町1番20号 第3ウエノヤビル6階

 　TEL： 082-511-0305　FAX : 082-511-0309　E-Mail : **ipej-hiro@rapid.ocn.ne.jp**

 (備考) **個人配信を申し込む場合は**、**統括本部／行事予定表から直接申し込んでください**。なお、個人配信は技術士会会員限定で、参加費1,000円です。

お問合せは mech@engineer.or.jp 片山まで。

|  |
| --- |
| **機械部会 11月講演会Web中継** **参加申込書 (2021年 11月12日)****主催：公益社団法人日本技術士会中国本部****申込ＦＡＸ番号：０８２－５１１－０３０９****※メール送信可能な方は、事務局の省力化のため、メールによる申込をお願いします。** |

**標記講演会 Web中継に参加します。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 資格(注1) | 区分(注2) |
| 申込者 |  | □技術士 □修習技術者□その他 | □会員 □非会員 |
| 技術部門(注3)※複数選択可 | □機械　□船舶･海洋　□航空･宇宙　□電気電子　□化学　□繊維　□金属□資源工学　□建設　□上下水道　□衛生工学　□農業　□森林　□水産□経営工学　□情報工学　□応用理学　□生物工学　□環境　□原子力･放射線□総合技術監理 |
| 勤務先 |  |
| 連絡先 | E-mail  |  | □会社　□自宅 |
| ＦＡＸ |  | □会社　□自宅 |
| ＴＥＬ |  | □会社　□自宅 |

1. 資格は該当するものに■(または☑)を入れる。
2. 区分で会員とは日本技術士会会員を指し、該当するものに■(または☑)を入れる。
3. 技術部門は技術士か修習技術者のみ、該当するものに■(または☑)を入れる。
4. 連絡先は(会社・自宅)のうち、該当するものに■(または☑)を入れ、E-mail等を記入。
5. 同行者がいる場合は下記に記入。
6. この個人情報は、本行事の参加申込み以外には使用しません。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 資格(注1) | 区分(注2) |
| 同行者 |  | □技術士 □修習技術者□その他 | □会員 □非会員 |
|  | □技術士 □修習技術者□その他 | □会員 □非会員 |
|  |  | □技術士 □修習技術者□その他 | □会員 □非会員 |

問合せ先：〒730-0017　広島市中区鉄砲町1-20第3ウエノヤビル6階

公益社団法人日本技術士会 中国本部

TEL:082-511-0305　FAX:082-511-0309　E-mail：ipej-hiro@rapid.ocn.ne.jp